

職場体験を受け入れて

学校法人浮田学園 園長 浮田 淳子

「ひばり幼稚園では、毎年5人ほどの生徒さんを職場体験学習として受け入れていきます。」

「小さい子と遊ぶことが好きです」の言葉が多くなると、生徒さんの選択理由に挙げられています。しかしながら実際の業務はなかなかハードで、登園時の受け入れから降園までの時間、園児と密に接し、鬼ごっこやシッポ取り、サッカーや砂場遊びなど、若くて動き回り遊んでくれる中学生のお兄さん、お姉さん先生は引っぱりだこです。

各クラスの保育中は担任の補助として動き回り、自ら気付いて動ける判断力が必要です。降園後は園内全ての掃



体験学習で園児と遊ぶ

過す一日より、とても価値のある一日になると思います。そして、卒業を迎える1年後は、自分の目標に向かって生き生きとした表情の皆さんで居て欲しいと願っています。

「幼稚園教諭の仕事は大変だ」、「学校の方がまだ良かったと感じる」と話します。遊んでいると起きるトラブルの対処に戸惑ったり、園児からしたり、悪戦苦闘する姿は学校生活では、そう遭遇しないことかもしれません。

最終日、主任が行なう反省会の中で、必ず伝えることが三つあります。

一つは、「仕事の大変さ」です。これから先、自分の進路を選択する節目で、何が好きなのか、何をやりたいのかを見極める大切なことです。仕事には大変なことは必ずあります。好きであれば苦勞も乗り越えられるはずで

教育情報

人生設計を考える活動

平成29年度全九州中学校進路指導・キャリア教育研究大会鹿児島大会に向けた取組

鹿児島県中学校進路指導・キャリア教育研究協議会 会長 川崎 優志

◆本会の特色

本会は昭和43年に発足した「鹿児島県中学校進路指導研究協議会」を前身とし、「中学校における進路指導及びキャリア教育振興に関する諸問題を研究協議する」(会則第2条)ことを目的とし、県内11地区の研究協議会と本部役員から組織される伝統のある研究団体です。

また、県内の多くの中学校で採用されている『中学生生活と進路』や県内全ての高等学校(一部県外も掲載)の進路情報一冊を掲載した『上級学校の紹介』等の編集・発行を通して、生徒の主体的な進路選択に必要な能力の育成や正確な設置学科や特徴の提供にも努めています。

さらに、本会は九州全県の研究団体から組織される「全九州中学校進路指導・キャリア教育研究協議会」にも所属し、各県輪番で開催する「全九州中学校進路指導・キャリア教育研究大会」に多くの会員が参加し、九州の先進的な取組や事例を学び、本県の進路指導・キャリア教育の充実に貢献できるとを目標としています。

今年度の九州大会は、キャリア教育の第一人者を講師として招聘した職員研修を実施したり、本年度大会開催校

◆大会へ向けた取組

来年度はこの九州大会が本県で行われる運びとなり、平成29年11月10日(金)に鹿児島市立吉野中学校を会場として開催する計画です。

吉野中学校は、県内多数の大規模校(生徒数

の鹿児島市立天保山中学校と相互の授業を公開し合う合同研修会を行ったりするなど、研究意欲も大変旺盛な学校です。

そのような学校を会場として、「社会的・職業的自立に必要な力をほぐくみ、自分らしい生き方に迫る進路指導」の大会主題のもと、本県研究の一端を九州各県からの参加者(500人程度を予定)に披露できることをとても貴重な機会と考え

本会としても関係機関の協力や指導を仰ぎながら、会場校の吉野中学校との研究を一層推進していき、来年度の九州大会に向けて万全の態勢を整えていく予定です。



上2冊:「上級学校の紹介」

下3冊:「中学生と進路」